

別紙様式3

平成28年度 第1回 不破高等学校活性化協議会 議事要旨

日 時	平成28年 5月27日(金) 14:00~16:00																														
場 所	不破高校 会議室																														
出席者 (敬称略、 委員名は 50音順)	<p>(委員)</p> <table> <tr> <td>飯沼 暢康</td> <td>垂井町立宮代小学校 校長</td> </tr> <tr> <td>岩田 親昌</td> <td>垂井町立北中学校 校長</td> </tr> <tr> <td>神谷 憲一</td> <td>垂井町立不破中学校 校長</td> </tr> <tr> <td>高橋 利行</td> <td>岐阜経済大学 教授</td> </tr> <tr> <td>中川 敏之</td> <td>関ヶ原町教育委員会 教育長</td> </tr> <tr> <td>中川 満也</td> <td>垂井町 町長</td> </tr> <tr> <td>西脇 康世</td> <td>関ヶ原町 町長</td> </tr> <tr> <td>丹羽 豊次</td> <td>不破高等学校同窓会 会長</td> </tr> <tr> <td>三浦 高雄</td> <td>垂井町商工会 事務局長</td> </tr> <tr> <td>安田 直美</td> <td>不破高等学校PTA 副会長</td> </tr> <tr> <td>和田 満</td> <td>垂井町教育委員会 教育長</td> </tr> </table> <p>(高校側)</p> <table> <tr> <td>岩田 善隆</td> <td>校長</td> </tr> <tr> <td>棚橋 毅</td> <td>教頭</td> </tr> <tr> <td>橘 博</td> <td>教務主任</td> </tr> <tr> <td>下野恵理子</td> <td>特別活動部長</td> </tr> </table>	飯沼 暢康	垂井町立宮代小学校 校長	岩田 親昌	垂井町立北中学校 校長	神谷 憲一	垂井町立不破中学校 校長	高橋 利行	岐阜経済大学 教授	中川 敏之	関ヶ原町教育委員会 教育長	中川 満也	垂井町 町長	西脇 康世	関ヶ原町 町長	丹羽 豊次	不破高等学校同窓会 会長	三浦 高雄	垂井町商工会 事務局長	安田 直美	不破高等学校PTA 副会長	和田 満	垂井町教育委員会 教育長	岩田 善隆	校長	棚橋 毅	教頭	橘 博	教務主任	下野恵理子	特別活動部長
飯沼 暢康	垂井町立宮代小学校 校長																														
岩田 親昌	垂井町立北中学校 校長																														
神谷 憲一	垂井町立不破中学校 校長																														
高橋 利行	岐阜経済大学 教授																														
中川 敏之	関ヶ原町教育委員会 教育長																														
中川 満也	垂井町 町長																														
西脇 康世	関ヶ原町 町長																														
丹羽 豊次	不破高等学校同窓会 会長																														
三浦 高雄	垂井町商工会 事務局長																														
安田 直美	不破高等学校PTA 副会長																														
和田 満	垂井町教育委員会 教育長																														
岩田 善隆	校長																														
棚橋 毅	教頭																														
橘 博	教務主任																														
下野恵理子	特別活動部長																														
議事概要	<p>1 不破高校の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業を参観して、不破高校は大変落ち着いていると感じた。生徒は地域住民に明るく元気な挨拶をしてくれて、本当にうれしい。 不破高校は少人数授業等で生徒一人一人に対するきめ細かな教育が徹底されており、地域での活動も盛んで、人間的に成長できる素晴らしい高校だと思う。 地元の中学校にとって、不破高校は無くてはならない高校である。生徒一人一人の多様なニーズに対応できる高校として存続してほしい。 不破高校は山の上の高校であるが、近くに駅があるので、広い地域から生徒が通うことが可能である。 <p>2 不破高校活性化の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校活性化計画策定委員会の「審議まとめ」には、「西濃学区では、多部制高校やいわゆるサポート校等、柔軟なカリキュラムをもつ全日制タイプの高校に対するニーズが高い状況」とある。不破高校は単位制の特徴を最大限に活用しながら、高校の在り方を模索する必要がある。 																														

3 キャリア教育の推進について

- キャリア教育を充実させることが課題であることはよく理解できる。中学校でもインターンシップを3日間行っているのに、高校はそれを発展させる必要がある。デュアルシステムについて、方法、期間、受け入れ企業等、できることから検討を進めていけるとよいのではないか。
- 毎週、1時間の授業を協議会で計画し、地元企業人や地域住民を講師にしてキャリア教育の充実を図ってはどうか。

4 中学生等へのアピールについて

- 不破高校の特色や雰囲気、類型の専門性や進路実現状況等を通じて、不破高校は生徒がプライドをもてる高校であることを、中学生やその保護者に示すことが効果的ではないか。
- 中学生が不破高校に行きたくなるようなアイデアが必要である。例えば、一部の生徒を対象とした大学への進学に特化した授業も必要ではないか。
- 土曜日・日曜日や長期休業中に、「卒業生と語る会」のようなイベントを計画し、中学生やその保護者にアピールするのも効果的ではないか。
- 中学生にとって、高校選択の大切な要素の一つに部活動がある。スポーツチャンバラや弓道を強化して、中学生にアピールしてはどうか。
- 垂井町と不破高校は連携協定を結んでおり、現在、不破高校の生徒が参加予定の地域イベントとして、19の計画がある。不破高校生の地域貢献について、より一層アピールすることが必要ではないか。